

望海台デマンド型乗合タクシー 「望海(のぞみ)」実証実験実施中!



望海台 交通 NEWS

Vol. 7

発行 令和4年10月
望海台自治会
交通システム委員会

乗合成立のポイント、なるべく早めに予約を入れていただくこと

【神戸市交通政策課】

乗合成立のポイント、なるべく早めに予約を入れていただくことだと思います。早めに予約をして、他の人が「この便にのれば乗合が成立して料金が安くなる」と思ってくれる期間を出来るだけでなく作る事が大切です。

これまでの利用状況を分析したところ、ほとんどの方が利用したい便の直前に予約されています。例えば、9月15日10時の運行に対し、予約されたのは当日の9時26分です。9時26分に予約が入り、30分には予約が締め切られてしまうので、他の方がこの便に予約が入っていることを確認し、その便を選択するチャンスはたった4分間だけという

ことになります。これでは、乗合成立は難しくなります。

例えば定期的な予定がある場合は、1週間・2週間前に予約を入れておいていただきたい。また、まだ未確定の予定であっても、早めに予約を入れていただくことで、他の方がその便に予約をかぶせてくれるかもしれません。もちろん、あらかじめ予約を入れていても予約の締め切りまではキャンセルしていただいても構いません。

「乗り合いが成立すればお得に利用できる」という事を多くの方に認識して頂き、乗合成立を狙いながら上手に利用してほしいと思います。

■望海運行概要

- 運行日：毎日
- 運賃設定：450円
- 割引運賃※：300円(2人乗り合う場合)
200円(3名以上乗り合う場合)
- ※Web予約限定
- 予約制限：(Web)30分前まで
(電話)60分前まで
- ※キャンセルは60分前まで
- 電話予約：078-707-2200
- WEB予約：<https://bokaidai.koko-bus.com/>

時刻表：

時刻	イオン発	塩屋駅発	望海台発	
			イオン行	塩屋駅行
9時	05	15	00	10
10時	05	15	00	10
11時	05	15	00	10
12時	05	15	00	10
13時	05	15	00	10
14時	05	15	00	10
15時	05	15	00	10
16時	05	15	00	10
17時	05	15	00	10

望海台内の乗降ポイント：



望海台地域内では、利用者の任意の場所で乗降可能。ただし予約にあたっては左記のポイントから選択して下さい。

望海(のぞみ)は
来年2月からの本格運行を目指しています
しかし 目標には届かず。皆様のご協力が必要です!

実証運行実績	第1回 実証実験 (R4.1.14~ R4.3.31)	第2回実証実験 (R4.8.1~R5.1.31予定)	
		8月(無料運行)	9月
運行回数	32回	123回	52回
利用者数	52人(1人/日)	162人(5人/日)	67人(2人/日)
実利用者数	5人	18人	8人
乗合率	1.62 <small>目標達成</small>	1.32	1.29

目標乗合率
1.5
達成率
86%

望海は10月までの利用状況をもって2月からの本格運行への移行の可否を判断します。「乗合率1.5」を目標に運行を行っておりますが、現在は1.3程度にとどまっています。乗合率を上げるためには、少しでも皆さんにご利用いただく事が重要です。今一度、積極的なご利用をお願いいたします。



デマンド型乗合タクシー 望海（のぞみ）実証運行 中間報告会



デマンド型乗合タクシー
望海（のぞみ）

令和4年10月2日、神戸市・委員会役員・運行事業者の3者が集まり、実証運行の中間報告会を開催しました。NEWS 7号では、その際の話し合いの内容についてお届けします。

「望海」残念ながら目標には届かず。しかし利用者の裾野は確実に広がっている。

【神戸市交通政策課】

8月は誰でも何回でも無料で利用できるお試し運行を実施しました。合計123回運行し、延べ162名の方にご利用いただきました。無料期間終了後の9月は、50回運行し、延べ64名の方にご利用いただいています。（9/29時点）

「望海」は1回の運行毎に、運行経費の最大半分を市が補助します。1回の運行に多くの方が乗り合うことが効率的な運行（支援）となりますので、望海の運行には『※乗合率1・5』という目標を定め、これを達成することを目指し日々運行しております。

8月のお試し運行期間中の乗合率は1・32（162名／123回）、9月中の乗合率

本格運行するために10月は勝負の時。

【神戸市交通政策課】

第2回実証運行は令和5年1月末までの予定ですが、続けて2月より本格運行するためには、この10月の実績が非常に大事になります。

なぜなら、本格運行の実施には、地域住民や運行事業者に加え、国土交通省の担当者や警察、周辺を運行するバス事業者等が集まる『地域公共交通会議』を開催し、協議を整えた上で国に申請を行う必要があり、それに2・3カ月程度の時間を要するからです。『地域公共交通会議』では望海の運行が地域のニーズに沿っているか、単なる割安タクシーとなっていないかなど、乗合事業としての必要性を説明し関係者に理解を求めな

ればなりません。

望海が地域に根付きつつあるとはいえず、このままの状況（乗合率が低い状況）が続けば、関係者の合意形成を図ることは難しいと考えております。

繰り返しになりますが、切れ目なく本格運行に移行するために、この10月に今以上に多くの方に、望海に乗り合っ

て頂きたいと思えます。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運行	試験運行			本格運行		
進め方	【目標達成見込みの場合】 本格運行準備 ・地域公共交通会議等 ・申請手続き					

将来の生活の足を守るため、週一回・月一回でもいいので利用して欲しい。必要なのは、「望海台に住む住民全員で望海を支えていく」という意識。

【交通システム委員会】

「望海」はとても便利。ネット予約もやってみると全然大変ではないし、一度乗ったら便利さに気づいてもらえると嬉しいです。ただ、望海を生活になくしてはならないものとして利用されている方もいる一方で、「今は必要ない」「あとと便利だけど健康のために利用せず歩く」という方も多いのが現実です。今後免許を返納するなどして、望海を必要とする人は増えてくると思いますが、今の時点ですらでも必要という方はそこまで多くないのかもしれない。

【神戸市交通政策課】

望海の運行を支えるためには、地域の皆さんに望海の厳しい

は1・28（64名／50回）となっており、残念ながら目標は達成できておりません。その一方で、利用者の裾野の広がりを見ることはできました。第1回実証運行では、利用者の実人数は5名でしたが、第2回実証運行では、お試し運行を通じて、新たに13名増え、現在18名の方にご利用いただいております。

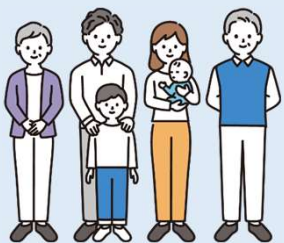
※乗合率：1回の運行に乗り合った人数の割合。望海の目標は1・5。例えば10回の運行で15人以上の方に利用いただく事が必要になる。

現状をご理解いただき、少しでも乗る機会を見つけて利用していただく事が必要だと思います。現在は特に必要性を感じていない方も、将来の生活の足を守るために、週一回、月一回でもいいので利用して頂ければ、「望海台に住む住民全員で望海を支えていく」という意識を持っていただければいいですね。

【交通システム委員会】

この現状が続けば望海の存続が難しくなるため、委員会としても危機感を持っています。乗合率を上げるためには、乗車いただく人数を増やすしかないと考えています。

一人一人のちょっとした協力を求めていきたい。人の意



今、必要な人も。将来、必要な人も。望海台の未来のために、望海を乗って支えていく。

識に訴えるには、危機感やお得感はとても重要になると思うので、乗合成立の際の利用料金のお得さ、そして望海の危機的な現状を、ストリートに伝えていくことが必要だと思います。